



避難者の居住場所を支援します

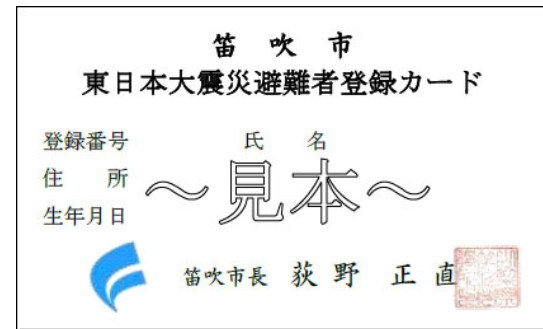
～笛吹市災害支援対策本部～

市災害支援対策本部を市役所本庁舎内に設置し（3月22日）、全庁的な体制を整え、東日本大震災で被害を受けた方々に様々な人道的な支援を行っています。

現在行われている主な支援は、避難者の動向を把握し、安心安全な居住場所の確保に努めることです。具体的には避難者の受け入れ、避難場所の提供・調整、住宅斡旋、退去に関するを行っています。

また、同本部では、これまで市内に避難されている方々に、支援物資の受け取りや公営温泉の無料利用、図書館利用などに使える「避難者登録カード」を発行しています。

市内の縁故者等に避難していて、まだ、カードをお持ちでない方がいましたら、ご連絡いただけますようお願いいたします。



▼市営住宅・民家等への避難者状況（4月12日現在）

石和町	25世帯	83人	御坂町	2世帯	5人	一宮町	2世帯	5人
八代町	6世帯	22人	境川町	3世帯	8人	春日居町	18世帯	53人
合計56世帯 176人 (主に福島県南相馬市、いわき市、双葉郡内などの方を受け入れています)								

■問合せ先 市災害支援対策本部 ☎055 (262) 5211 (直通)

福島県南相馬市を訪問

市災害対策支援本部は、避難者の受け入れに関するもののほか、被災地への物資等の支援及び人的支援を行っています。

4月8日、同本部は福島県南相馬市役所を訪れ、事前に必要とされた救援物資と笛吹市内に避難している南相馬市民の方々の名簿を渡しました。これは笛吹市内に南相馬市民の方々が多く避難していることにより行われたものです。

同日、南相馬市役所の職員の方と面談し、同市が抱えている被害の現状について伺いました。それによると、地震や津波により当初発生した物資の不足などは解消しつつあるが、原発事故による風評被害などが始めていると話がありました。

また、同本部は被災者の方々に少しでも平穏な生活をしていただくため、一時的な避難場所として旅館・ホテルを用意していることを説明しました。

▼救援物資内訳

- ・スコップ10本・ブルーシート20枚・長靴10足
- ・軍手100双・米10キロ10袋・カップラーメン100個・缶詰100個・ラジオ10個

▼災害被災者宿泊施設受入事業

市内の旅館・ホテルにて無料で食事（1日3回）、入浴などを提供し、被災者1名につき最長で30日間、避難生活を支援するものです。



南相馬市役所にて被害状況を伺う



南相馬市に届けられた救援物資

救援物資の募集休止について ～笛吹市救援物資支援センター～

笛吹市並びに笛吹市社会福祉協議会では、4月5日に東日本大震災における市内避難者並びに現地被災者に必要な物資を供与することを目的として、「笛吹市救援物資支援センター」を開設したところ、予想を超えるご支援、ご協力をいただきました。

皆様からご支援いただいた救援物資につきましては、随時、避難者の方へ提供を行っていますが、当面必要とする物資が集まりましたので、救援物資の募集を一旦休止させていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。

なお、必要とされる物資は刻々と変化していますので、改めてご協力をお願いする場合がありますので、ご理解をお願いします。

また、物資仕分け作業ボランティア募集につきましても、大勢の方の応募があり、仕分け作業も一段落したことから、募集を休止させていただきます。

なお、ボランティアにつきましても、今後の状況により、再度募集する場合があります。

■問合せ先 笛吹市救援物資支援センター ☎0553 (26) 3512

義援金、支援金のご協力をいただいています

市では、「東日本大震災」にともない、本庁舎、石和保健福祉センター、南館、各支所に「被災地義援金ボックス」、「避難者支援金ボックス」を設置し、市民の皆様などから多くの支援をいただいています。

▼義援金(4月6日現在) 5, 554, 242円

※義援金につきましては、日赤等を通じ被災地へ届けさせていただきます。

▼支援金(4月6日現在) 1, 335, 607円

※支援金につきましては、避難してきている方の支援にかかる経費(物資購入、生活援助等)に充てさせていただきます。

今後につきましても、市民の皆様の温かいご支援をお願いします。

■問合せ先 福祉総務課(石和保健福祉センター内) ☎055 (262) 1271

計画停電についてのお知らせ

電力の需要と供給のバランスが維持されていることから、今後、計画停電につきましては、「原則実施しない」となりましたので、お知らせします。

なお、今後、電力の需要が急増した場合など、やむを得ず計画停電を実施することもあり得ますので、引き続き節電へのご協力をお願いします。

がんばろう！日本を市の合言葉に

被災者の支援と被災地の復興は、これからが本番であり、そして長期的な取り組みになることは必至です。すべての国民が一丸となって、取り組みをさらに広げて、この国難を乗り越えなければなりません。

そこで、「支援」という枠を超えて一人の日本人として、**がんばろう！日本**を合言葉にして、前に進んでいきましょう。

▼笛吹市役所での具体的取り組み

- ・すべての職員が名札に**がんばろう！日本** (白地に赤字) を付ける。
- ・市からの市民等への発送文書等の欄外にも可能な限り印字する。